

ファイルサーバ、ストレージ、クラウドの安全で効率的な運用管理

NIAS

NEC Information Assessment System

ニアス



最新バージョン V5.1リリース 機能アップ内容

- ① アクセスログ監視によるセキュリティ監視をサポート（ログ監視オプション）
- ② レポート機能を強化。管理者へレポート自動送信機能サポート
- ③ OAuth認証が必要なメールサービスとの連携に対応（Gmail、M365対象）
- ④ NIAS上で異なる画面に遷移した際の、ツリニ情報の保持
- ⑤ JWT認証を利用したデータ移行速度向上（データ移行オプション）

box

クラウドストレージBoxサポート

2024.03

ファイルサーバ、ストレージ、クラウドにおけるデータ肥大化やセキュリティの課題を総合的に改善しトータルコスト削減・情報漏えいリスク低減を実現します



! このような課題はありませんか?

保存データ急増で、
ファイルサーバの
容量が逼迫している

効率的に
不要ファイルを
整理したい

バックアップに
長時間要している

アクセス権管理が
煩雑で情報漏えいが
心配



NIASの3つの機能で課題を解決します!!

function 1 見える化 利用状況を可視化し、運用状態を検証

- データの増加予測が確認できるため、今後のキャパシティプランニングが簡単に可能
- メモリデータベースを活用し、リアルタイムに条件を変えて高速分析可能(NEC独自技術)

複数の分析項目から
「見える化」ができる!!



分析項目と整理対象ファイルの例

分析項目	整理対象ファイル
増加傾向	サーバ容量推移・シミュレーション
更新傾向	長期間更新されていないファイル
参照傾向	未参照ファイル
サイズ傾向	10MB以上の大容量ファイル
重複傾向	重複しているファイル
所有者傾向	大容量占有ユーザの特定
種別傾向	ファイル種別の特定

function 2 スリム化 不要なファイルを簡単に整理整頓

- 未利用ファイル、古い世代のファイル、重複ファイルなど簡単に見つけ出し、利用者に確認後、必要のないファイルは移動や削除
- 長時間未参照だけど必要なファイルは、ショートカットとアーカイブストレージを活用し、整理可能



function 3 健全化 アクセス権限の適正管理

- 人事異動や退職などに伴い発生するアクセス権の棚卸に対応
- 不適切なアクセス権の検出・修正可能

グループユーザがアクセス可能なフォルダをツリービュー上で色分け表示
「誰が、どのフォルダにアクセスできるか」を可視化して把握

アクセス可能な範囲が
視覚的に確認できるので、
管理しやすい!!

ファイルサーバ統合管理ソフトウェア

NIAS NEC Information Assessment System

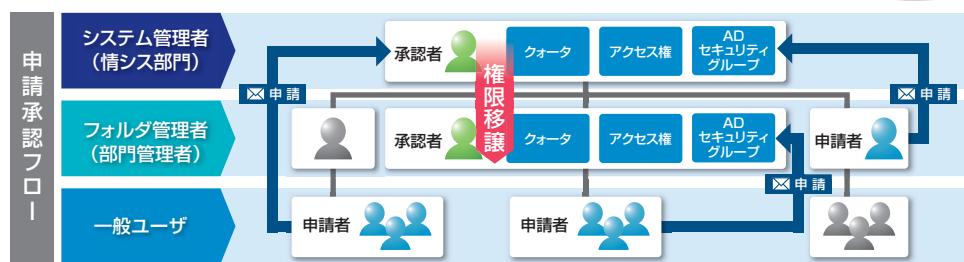


オプション利用により、さらに業務効率化/セキュリティ強化が図れます

リソース管理 フォルダ割り当て業務などが一元管理できるため、業務効率アップ

- 人事異動や組織改編時に発生する煩雑な設定作業を大幅に改善
- クオータ設定やアクセス権、Active Directoryのセキュリティグループを一元管理
- 設定作業を現場部門に権限移譲する事ができ、申請承認を行うためのワークフロー機能を搭載

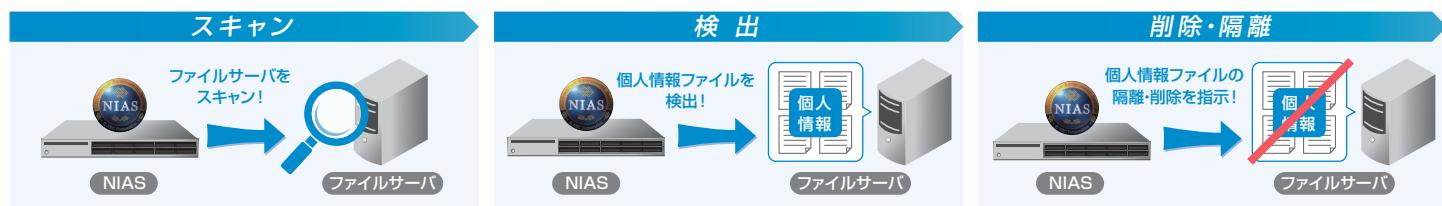
フォルダ運用から
申請承認フローまで
業務効率改善機能が充実!!



個人情報検出 個人情報を含んだファイルを「検出」「隔離」「削除」し、漏洩リスクを削減

- 検出できる個人情報は、氏名・メールアドレス・住所・電話番号・マイナンバー・クレジット番号など
- 個人情報を含むファイル件数が画面上で確認でき、利用部門へ確認を行いながら削除や隔離ができる
- 個人情報を含むファイルへのアクセス可能者数やファイル内の個人情報数を総合的に分析し、危険度が判断できる

個人情報が含まれる
ファイルを検出できる!!



ログ監視 ランサムウェア感染やデータ破壊が疑われる挙動を自動検知 (ログ監視機能はNIAS V5.1よりサポート)

- ランサムウェア等のマルウェアの感染が疑われる挙動や、大量のデータ削除処理といった不正行為を把握して管理者へ通知



詳細レポート 管理者への自動通知もサポート

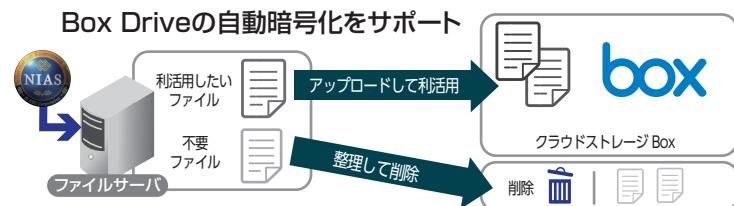
- 詳細レポート機能(容量推移、増加予測、傾向分析)によるサーバ、ストレージ、クラウド環境の定期的なヘルスチェック
- 管理者への自動メール送信機能をサポート (NIAS V5.1より)
PDF形式で自動且つ定期的なレポート受信が可能

詳細なレポート確認や
定期的な自動メール
送信機能で手間や抜けの
無い管理と運用ができる!!



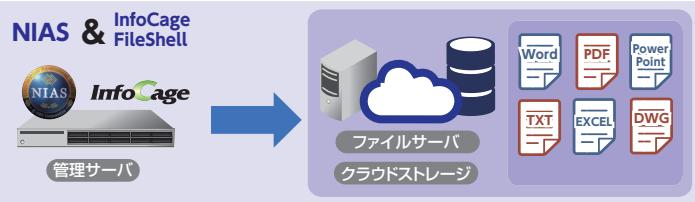
Box対応 クラウドストレージへの容易なデータ移行

- Boxへのデータ移行をNIASがサポート。事前ファイル整理による移行高速化。検索性向上。(NIAS データ移行オプション)
- 機密情報保護ソフトウェアInfoCage FileShellとの併用で、Box Driveの自動暗号化をサポート



機密情報保護ソフトウェア連携 InfoCage FileShell連携機能

- ファイルサーバ統合管理「NIAS(ニアス)」は、機密情報保護ソフトウェア「InfoCage FileShell」と連携可能
- 「NIAS」と「InfoCage FileShell」の連携により、利便性を下げることなく「NIAS」の管理画面から条件にマッチするファイルをピントに指定して保護化が可能
- 「NIAS」と「InfoCage FileShell」の連携には、「NIAS」上に「InfoCage FileShell プロテクタ for NIAS」をインストールして実現。同ソフトウェアは「NIAS」と「InfoCage FileShell」両方を導入済の正規ユーザー様へ無償で提供



NIAS 技術支援 NIASの導入構築、コンサルティング、教育、運用支援からサポートまでSCSKへお任せ

- これまで数多くのお客様にさまざまな情報セキュリティを強化するITシステムの導入構築を担ってきたSCSKでは、豊富な知識と経験を有しております。技術支援として、国家資格「情報処理安全確保支援士」を筆頭に高度情報処理資格を持った技術者による総合的なアドバイスや、「NIAS」技術認定を有する資格者によるきめ細かなサポートとインテグレーションを提供しています。
- 重要データを保存しているサーバ、ストレージ、クラウド管理において「NIAS」の導入は大きくお役に立ち、あらゆる面でお客様の課題解決を自信をもってご提供いたします。



NIASライセンス 詳細はお気軽にお見積りをご要望ください。

- 管理対象となるファイルの総使用容量に応じた基本ライセンス（管理対象1TB）と追加ライセンスを用意しています。「NIAS」をインストールするサーバ1台に基本ライセンスが1本必要です。「NIAS」による管理対象のファイルサーバへのインストールは不要です。利用する一般ユーザ数の制限はありません。

製品名	内容
NIAS 基本ライセンス 1TB	見える化、容量削減・整理、アクセス権機能がお使いになれます。 NIAS管理サーバ1台毎に1つの基本ライセンスが必要です。（基本ライセンス価格 50万円）
NIAS 追加ライセンス 1TB ~	管理対象のファイルの総合使用容量に応じた追加ライセンスです。 (ライセンス価格 追加1TB 50万円より)
リソース管理オプション	ファイルサーバの運用業務をNIAS画面から一元管理するためのオプション機能です。 フォルダの割り当て、アクセス権の付与など、承認申請のワークフローを使って、効率よく正確に設定作業を行うようになります。（ライセンス価格 50万円より）
個人情報検出オプション	ファイルサーバ内の個人情報を含めるファイルをNECの独自フィルタリング技術で検出できるオプション機能です。管理者がどこに機密情報があるのかを把握し、対象ファイルを隔離したり、廃棄することが可能となり、情報漏えいのリスクを低減します。（ライセンス価格 50万円より）
データ移行オプション	オンプレミスのファイルサーバから、CIFS共有できる別のファイルサーバへデータ移行を行います。別機種のストレージ、AWSやAzureのようなaaS環境上のファイルサーバへデータ移行も可能です。また、クラウドストレージのBoxへデータ移行することができます。（ライセンス価格 50万円より）
機密情報保護ソフトウェア InfoCage FileShell 連携オプション	機密情報保護ソフトウェア「InfoCage FileShell」と「NIAS」を連携できるオプションライセンスです。本ライセンスで「NIAS」管理画面から暗号運用したいファイルを自由に選択して、暗号対象化処理が可能です。本件オプションライセンスは「NIAS」と「InfoCage FileShell」双方の正規ライセンスを導入いただくことで無償で提供しております。（ライセンス価格 条件を満たす事で無償）
ログ監視オプション (NIAS V5.1よりサポート)	ファイルサーバのアクセスログを監視することで、ランサムウェア等のマルウェアの感染が疑われる挙動や、大量のデータ削除処理といった不正行為が疑われる挙動を自動検知、管理者に通知します。（ライセンス価格 50万円より）



- 本表記載の価格は買切型（パペチャル）のライセンス価格（メーカー希望価格）です。NIASには6カ月単位、12カ月単位のサブスクリプション型のライセンス購入も可能です。

NIAS動作環境 (NIAS V5.1) NIASはオンプレミスはもちろんクラウドも対応

NIAS用管理サーバ (1台で2億ファイル (100TB) まで対応。1台~10台で構成可能)		クライアント (NIAS用管理用サーバへ接続して管理、操作する環境)
OS	Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server IoT 2022 for Storage Windows Server IoT 2019 for Storage Windows Storage Server 2016 ※ Windows Storage Server、Windows Server IoTにインストールする場合、管理対象はそのサーバ自身の共有フォルダのみになります。	管理、表示 (ブラウザ) Chromium 版 Edge Chromium 版 Edge (IEモード) Google Chrome
CPU	Dual Core以上(Quad Core以上推奨)	
メモリ	4GB以上 (注1: 必要メモリ量はファイル数に依存します。) ・ログ監視オプション利用時は8GB以上必要です。 (監視対象サーバ 1台 毎 100MB 追加)	
ディスク空き容量	以下の合計分の容量が必要です。 ・対象容量1TB当たり約15GB ・個人情報検出オプション利用時は対象容量1TB当たり約20GB ・ログ監視オプション利用時は監視対象サーバ 1台毎に 80GB	
対応仮想化ソフト	VMware , Hyper-V	
ファイル検査時間 (初期検査)	初期検査は目安として1TB(200万ファイル)、約2時間を要します。 ・個人情報検出オプションの初期検査は、1TB = 約50時間を要します。 ・2回目以降は更新ファイルのみ差分検査します。	
リソース管理オプション対象(クォータ機能を利用時の対象ファイルサーバ)		リソース管理オプション (クォータ機能を利用時の対象ファイルサーバ)
		Windows (Server 2016, 2019, 2022 / Storage Server 2016 / Server IoT 2019 for Storage, IoT 2022 for Storage) iStorageMシリーズ NASオプション (Virtual File Platform 4.2.2 ~ 5.1.1) EMC VNX (VNX OE for FILE 8.1) EMC Isilon (OneFS 7.0 ~ 7.2, 8.0 ~ 8.2, 9.0 ~ 9.5) EMC Unity (UnityOE 4.0 ~ 4.5, 5.0~ 5.2) NetApp (7-Mode 8.1, 8.2 / Cluster-Mode 8.2, 8.3, 9.0~ 9.12)

- クラウド環境への利用を含めご不明な点は適宜お問合せください。

注1 : 必要な総メモリ量は、ご導入の環境を元に正確な情報を計算してご案内させていただきます。

製品開発元 日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC本社ビル)

製品およびご購入に関するお問い合わせ

SCSK SCSK株式会社

<https://www.scsk.jp/>

ITインフラ・ソフトウェア事業本部 サーバ・ストレージ部

〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント

E-mail:nec-sales@scsk.jp

製品情報 https://www.scsk.jp/sp/nec_nias/



NIAS 製品サイトは
こちら

●本カタログ中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。●本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外団為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続にあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。●本カタログに掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものと多少異なることがあります。また、改良のため仕様が変更されることがあります。●記載内容は2024年3月1日現在のものです。